

キクメイシ, ヨロイイソギンチャク, フメボシイソギンチャク, ハイドロゾア SP

海綿動物

ツカノハ, イソカイモノ SP

(小 浜 貝 七 記)

丹生郡厨方面海産動物採集記

- (1) 期 日 昭和31年7月29・30日
 (2) 指導者 横浜國太郎教授 近井恒理等
 (3) 採集地 丹生郡越前町厨海岸
 (4) 参加者 28名 学生生徒20余名
 (5) 日 程

29日 夜1～5時 磯採集
 夜7～8時 フラングトン採集
 イカ釣見学

30日 前4～6時 漁港にて採集
 前8～12時 磯採集・標本整理
 夜2時 解散

- (6) 主な採集品 { 1 博物館資料中に今まで記載なきものは、本項にて示す。
 2 日本動物区誌に記載しあるものは頁数を()の中に示す

A 背鰭動物

× ハナイトギンボ	(308)	ミシマオコゼ	(317)
ツルマキ	(334)	メイトカレイ	(339)
ハチ	(364)	オニオコゼ	(366)
マトダイ	(396)	キエウセン	(401)
イシダイ	(411)	マアナゴ	(470)
アカエイ	(518)	ホシザメ	(528)

B 臀鰭動物

カラスボヤ	(535)	キクイタボヤ	(540)
-------	-------	--------	-------

C 棘皮動物

マナマコ	(567)	バフンウニ	(585)
ムラサキウニ	(586)	アカウニ	(587)
サンショウウニ	(589)	クモヒトテ	(601)
クモヒトテ	(605)	ヤツテヒトテ	(619)
イトマギヒトテ	(623)	イツテスナヒトテ	(631)
ウミシダ	(648)		

D 節足動物

* アカイソガニ	(653)	イワガニ	(657)
フタバベニツケガニ	(692)	ノッカクガニ	(709)
ワタクズダマシ	(710)	イボテガニ	(685)
イシガニ	(692)	カガミ	(694)
イボカガミ	(696)	ヒラツメガニ	(697)
* ドロガニ	(699)	ゴシマガニ	(704)
ヤハズモガニ	(710)	ヒメソバカラガニ	(714)
マワラガニ	(714)	ツノテガコフシガニ	(718)
ヨツバモガニ	(710)	アミメキンセンガニ	(722)
サメハタヘイケガニ	(725)	ミスヒキガニ	(728)
* カイカムリ	(730)	ヤマトヤドカリ	(737)
イソカナダマシ	(742)	コフカニダマシ	(745)
コフタクズガニ	(702)		
ヒメアカイソガニ	Acmaeopleura parvula	STIMPSON	(—)
トラノオガニ	Parapilumus pearsei	(RATHBUN)	(—)
* ヒラアシカムリ	Petalomera granulata	STIMPSON	(—)
クルマエビ	(794)	フナムシ	(807)
* ウミミズムシ	(807)	ウミナナフシ	(805)
イドテア	(810)	ウミゼミ	(818)
ヨコエビ科 sp	(827)	カメノテ	(862)
アカフジツボ	(863)	ハマトビムシ	(1516)

E 軟体動物

スルメイカ	(1025)	ミノウミウシ	(1062)
ヤマトウミウシ	(1069)	アオウミウシ	(1071)
シロウミウシ	(1071)	* コモンウミウシ	(1072)
* サラサウミウシ	(1072)	* キヌハタモドキ	(1074)

アノフラシ	(1083)	クロヘリアメフラシ	(1084)
× ミドリアメフラシ	(1084)	ナガニシ	(1104)
イボニシ	(1121)	レイシ	(1121)
× ヒワガイ	(1122)	ヤツシロガイ	(1122)
カツラガイ	(1127)	カニモリガイ	(1145)
クボガイ	(1181)	ヘソアキクボガイ	(1181)
イシタタミ	(1180)	オトメガサ	(1194)
スカシガイ	(1195)	ナカザルガイ	(1227)
クサズリガイ	(1268)	マスリヒザラガイ	(1268)
ヒザラガイ	(1269)		

F 環 取 体 動 物

フサコケムシ	(1294)	ゴフコケムシ	(1281)
--------	--------	--------	--------

G 環 形 動 物

ウロコムシ	(1312)	ゴカイ	(1320)
イソゴカイ	(1322)	フサゴカイ	(1343)
カンザシゴカイ	(1347)	ウズマキゴカイ	(1349)

H 腔 腸 動 物

ヨロイイソギンチャク	(1590)	ウメボシイソギンチャク	(1592)
ミズクラゲ	(1607)	アカクラゲ	(1609)
アサガオクラゲ	(1614)	シロカマ	(1644)
ウミシバ	(1648)	Amphisbetia sp.	(1649)

I 海 綿 動 物

イソカイメン	石灰カイメン
--------	--------

(7) 採集雑感

暗着中で短時間の採集会ではあつたが、その採集標本を見ると、当方は今までに行われた安島・鷹巣と並んで横北に於ける好運の採集地と考えられた。

未だ採集会は五回を数えるのみで、毎回、博物館未記載の動物が熱心な各位により発見されてゆくのは心算しいものがある。

今年もお元見な姿を見せていただいた酒井教授の御親切な御指導に深甚の謝意を表します。

以上

(田 尻 利 広 記)